

2020 年度実施概要

学校名

市川市立八幡小学校

採択活動名

海へとつなぐ ～都市部での生活を見直し、豊かな海と明るい未来をつくろう！～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 生きものいっぱい八幡小	全学年	特別活動

取り組みの概要

本校は、「ジャンボ、八幡っ子！豊かな学びを通して、心も体もジャンボな子どもを育てる」の学校教育目標の下、まなび・プロジェクトにおいて、アライアンス海洋教育の実践を通して豊かな学びの充実を図ることを掲げ、これまでも総合的な学習の時間における海洋教育につながる体験授業の充実などに取り組んできた。

しかし、本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、子どもたちの学習活動が大きく制限され、当初計画していた海苔すき体験や田んぼづくり、田植え体験等を行う機会が失われた。また、臨時休校や社会全体の不安増大など、子どもたちの生活環境の大きな変化により抱えたストレスに対し、学校における心のケアに重点を置いた取り組みが求められることとなった。

そこで、本校では、日常的な海洋生物の飼育を通して、子どもたちに生きものとの触れ合いを通じた豊かな学びと、安心して学校生活が送れる環境づくりに力をいれることとした。校長室にある生きもの広場を中心として、校門前の池(ビオトープ)の整備、職員玄関前の大型水槽および金魚の水場の設置等を行い、子どもたちが日常的に、学校生活の中で自然に生きものと触れ合えるような工夫を施した。その結果、毎朝、ビオトープを観察し生きもの成長を見守る子どもたちや、休み時間に自主的に水槽の掃除や生きものたちの世話をする児童、生きものクイズを考え、子どもたちで出し合いながら楽しむ児童など生きものとの自然と触れ合い、楽しむ姿が多く見ることができるようになった。駅前のタワーマンションが建ち並ぶ環境下で生活する本校の子どもたちにとって、学校で生きものたちと触れ合うことができることは、大きな喜びとなっているようだ。

本プロジェクトにおける本校の活動名は、「海へとつなぐ～都市部での生活を見直し、豊かな海と明るい未来をつくろう！～」である。この一年間取り組んだ生きものとの触れ合いの取り組みを、全校の活動としてまとめ、学習発表会を行った。学習発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、動画および「やわた小生きもの図鑑」のリーフレットによる形式で行った。本年度一年間、全校で集まる集会等も行うことができず、学年を超えた子どもたち同士のつながりをつくるのが難しい状況であった。そのような中、みんなで一年間育ててきた生きものによって、子どもたちの同士の心がつながり、生きものたちの環境に対する興味関心を広げ、豊かな海と未来をつくる心をはぐくむことができたのではないだろうか。

活動中の写真



